

## 徳島飛行場について

昭和37年に公共用の飛行場となった徳島飛行場は、民間航空の利用が盛んになるにつれ民航地区の整備を要請する声が高まってきました。これに対応する中で、昭和40年前半には、現在のターミナル地域の骨格が現れ、昭和56年には2,000メートル滑走路への拡張工事が始まり、昭和62年には供用が開始されました。また、東京路線を中心とする旅客需要への対応を図るとともに、大型機が就航出来るよう2,500メートル滑走路への拡張事業が平成22年に完了しています。

平成27年に徳島自動車道と徳島飛行場間を結ぶ松茂スマートインターチェンジが開通され、飛行場までのアクセスが向上しました。

また、平成30年には国際線就航に対応した新ターミナルが完成し、3基目となるポーディングブリッジ(搭乗橋)が備えられました。



## 空港の歴史

### 昭和

- 昭和17年** 旧海軍徳島航空隊によって開設
- 昭和32年** 防衛庁が滑走路(1,500m×35m)建設に着手
- 昭和33年** 海上自衛隊第三航空群徳島航空隊基地として使用を開始
- 昭和37年** 運輸省が「公共用飛行場」に指定
- 昭和42年** 供用開始
- 昭和56年** 航空機の大型化に対応するため、2,000m×45mの滑走路拡張工事に着手
- 昭和62年** 供用開始

### 平成

- 平成元年** 新ターミナルビル完成
- 平成4年** 北側平行誘導路完成
- 平成13年** さらに増加する航空需要に対応するため、2,500m×45mの滑走路延長に着手
- 平成22年4月** ターミナルビルを海側に移転し、滑走路の供用開始
- 平成30年1月** 国際線ターミナルビル供用開始

### 現在



## 徳島飛行場に就航している航空機 ※( )内はプレミアムクラスの座席数です。

### ANA ボーイング 737-800



全長:39.5m  
全幅:35.8m  
全高:12.5m  
全座席数:166(8)  
巡航速度:830km/h  
航続距離:3,900km

### ANA ボーイング 737-700



全長:33.6m  
全幅:35.8m  
全高:12.5m  
全座席数:120(8)  
巡航速度:830km/h  
航続距離:4,900km

### ANA エアバスA320



全長:37.6m  
全幅:35.8m  
全高:11.8m  
全座席数:180  
巡航速度:840km/h  
航続距離:3,180km

### JAL ボーイング 767-300



全長:54.9m  
全幅:47.6m  
全高:16.0m  
全座席数:261(42)  
巡航速度:862km/h  
航続距離:3,150km

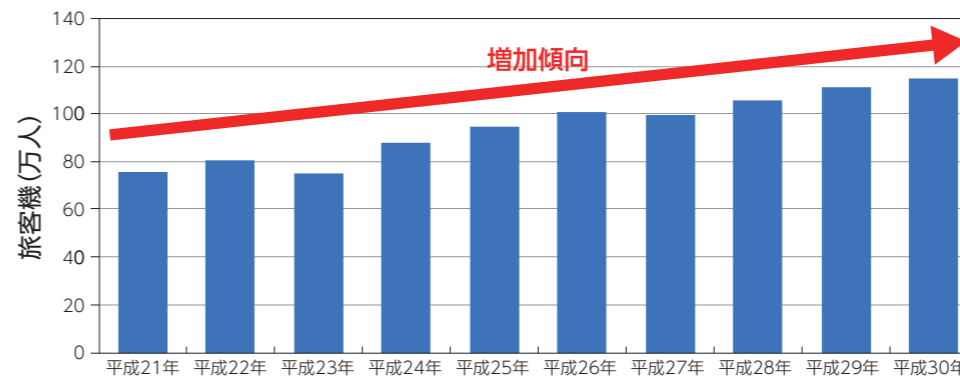
### JAL エンブラエル170



全長:29.9m  
全幅:26.0m  
全高:9.9m  
全座席数:76  
巡航速度:800km/h  
航続距離:2,600km

写真提供:ANA JAL

## 徳島飛行場の年間利用者数



出展:国土交通省 空港管理状況調査

